



# あのとときの常呂・写真館

VOL 129

(1968年)

昭和43年2月18日

## 福山小学校校内スキー大会

▶福山小学校から栄福橋側（南側）に下った裏山には、国有林を借用したスキー場がありました。昭和40年1月26日付けで常呂町から北見営林署に提出した「国有林野貸付申込書」には、「面積0.8ヘクタール、福山小・川沿小両校のスキー場に供するため」と書いてあり、平成4年3月21日の福山小学校休校後の平成10年3月末まで継続借用しています。

●『福山小学校40年のあゆみ』の沿革には、「昭和38年2月 佐々木スキー場において第1回校内スキー大会」「昭和39年2月 北見営林署職員が講師となって第1回スキー技術講習会、スキー場の整備（立木伐採、雑木の除去）」の記載があります。

実質的に国有林を使用して福山小学校のスキー授業・大会が行われており、地域の要望を受けて町議会が議決し、貸付使用申請を経て正式に使用開始したと推測できます。



●スキー場の新設に関して、『福山小学校40年のあゆみ』の沿革には、「昭和40年1月北見営林署より用地借用、PTAの労力で4日間立木伐採」、「2月 同スキー場でスキー場開きを兼ねて校内スキー大会開催、川沿・登両校より友情参加」とあります。この校内スキー大会が、スキー場整備後最初の大会となります。

●今回紹介する3枚の写真は、写真が残っているもっとも古い昭和43年2月18日開催の校内スキー大会のものです。



●昭和42年度の「福山小学校 学事報告」では、児童数は、1年／4人、2年／6人、3年／7人、4年／9人、5年／10人、6年／11人の計47人：複式3学級。標題の校内スキー大会にいたるまでに、10月28日／PTAと営林署によるスキー場の笹刈り・整備、12月25日／PTAによるスキー小屋建設、1月28日／町内スキー教室を経て当日を迎えています。また、スキー大会への寄付は、個人・企業・団体から11件、現金やノート・鉛筆・メダル・ミカンなどの景品やスキー小屋建設の材料がありました。寄付一覧ではスキー大会への寄付がもっとも多く、地域や学校にとって大きな行事だったことが分かります。

●スキー場の造成について、『福山小学校 60年誌』の中で、第7代校長が「福山スキー場で〈もう一度滑ってみたい〉という思いは、私の心の中に幾度となくわき上がってくる。このスキー場の造成は、校下父母の総力を結集しての労力奉仕により、立木の伐採・搬出・整地という大事業によって完成し、これを記念してのスキー大会が盛大に実施され、広大なスキー場で児童と共に楽しくスキーに親しむことができたことは、生涯忘れ得ぬ思い出である」と綴っています。

\*右の図は、国有林野貸付申請書に添付した福山小学校や周辺の簡略図と借用申請した箇所を示したものです。

